

## 令和4年度第2回湖南省環境審議会 議事要旨

日 時	: 令和5年2月28日(火) 14:00～15:45
開催場所	: サンライフ甲西 2階大ホール
出席委員	: 鈴木、野呂、来田、酒井、櫻井、河内、吉川、森田、浅井、吉川、 青木 (11名)
欠席委員	: 内林、上西 (2名)
事務局	: 加藤部長、東峰次長、池本課長、安田課長補佐、 松浦主任主事、川上主事 (6名)

### 1. 開会 (司会: 環境経済部環境政策課池本課長)

- (1) あいさつ  
 ・ 部長あいさつ

### 2. 議事 (議長: 鈴木会長)

「湖南省環境審議会規則第3条2項に基づき本日の出席委員は13名の内11名であり過半数以上の出席があり本日の審議会が成立している」と事務局から報告。  
 湖南省環境審議会規則第3条に基づき会長が議長となり、議題の審議に移る。

- (1) 報告事項  
 ・ 事務局より湖南省一般廃棄物処理計画中間見直し(パブリックコメント結果)について報告

審議会委員意見	事務局
<p>■ 今回の計画見直しにあたって、今後のスケジュール感はどのような流れになるか。</p> <p>■ 県内のリサイクル率においてトップが栗東市の25.6%、湖南省が13.7%で約10%ほどの差がある。具体的に、栗東市との違いがどういったものなのか。</p> <p>また、リサイクル率の大幅な向上のための新たな施策とは現時点でどういったものを考えているか。</p>	<p>■ 今後は議会に報告したのち計画書を製本し、市HPや関係機関へ配布していく予定。</p> <p>■ 栗東市では焼却処理した熱源を再利用しているため若干の差があると考え。湖南省、甲賀市においては施設が古いため、そういった仕組みにはなっていない。リサイクル率が20%以上ある市町村はほとんどがそのような仕組みを持っている。</p> <p>また、生ごみが燃えるごみのうちの20%を占めていることから、それをうまく再生利用していけるよう今後も検討していく必要がある。</p> <p>新たな施策については、ボトルtoボトルなど、まずは現在行っている施策の周知徹底をすることが重要と考えている。それに加えて新た</p>

<p>■リユースも重要と考えている。交換銀行のような取り組みについて、市民の中で実施されているような活動もあると思うので、そういった活動を今後どのように広げていけるか検討していただきたい。</p> <p>■事業所のごみでまだ使えそうなものを、消費しきれずに捨てる機会が多いように感じる。例えば企業間や、企業から一般家庭といったルートでのリユースの取り組みがもしあれば良いのではと感じた。</p>	<p>な施策を検討していきたい。</p> <p>■昨夏、一人暮らしの高齢者に向けたダンボールコンポストの説明会に参加した。ごみステーションへごみを出すのが難しい方などに、生ごみを肥料化できることなどについて説明いただいた。このような取組について広報で周知するなどしていきたい。</p> <p>■企業としても再利用の取組をしていただければ理想。またそういった事例を教えていただければ、湖南工業団地協会や工業会などに情報共有させていただこうと思う。</p>
---	--

・事務局より生活環境保全活動について報告

審議会委員意見	事務局
<p>■東寺のバンパー不法投棄に関して、行為者の特定はできなかったのか。</p> <p>■ホームセンターで売っているような、外で使用する薪ストーブやコンロは野焼きに該当するのか。</p> <p>■菩提寺地先で竹林整備をしており、そこから竹炭を作りたいと思っている。その際に届出等が必要となるのか。</p> <p>■空き地の対応事例について増えているのか。また、即座に対応されることは少ないのか。</p>	<p>■（甲賀環境事務所長より回答）市の環境審議会で紹介いただいているが、県事業となる。県でも関連事業所に訪問するなどして、権限の範囲内で調査を進めていたが、警察ではないので捜査ができず任意での聞き取りに留まり、行為者特定には至らなかった。</p> <p>■ごみ、廃棄物を燃やしている場合は禁止となる。薪ストーブなどは薪を十分乾燥させたうえで使用すれば煙も少ないと聞いている。例えば、バーベキューなどでも禁止地域でないことや、近隣の方の同意などがあれば問題はない。</p> <p>■消防署に届出していただくのが望ましい。</p> <p>■例年 100 件前後。 こちらから通知を送付して即座に対応いただけるのは稀。また、全面の草刈りではなく</p>

<p>■脱炭素的な面で、野焼きはどの程度の影響があるものなのか。また、空き地の草刈りをするによってCO2が増えると思うが、「ごみ」と「脱炭素」の整合性について考えられていることはあるか。</p>	<p>周囲だけを実施されるケースもある。</p> <p>■研究データなどはあるかもしれないがすぐにお示しはできない。</p> <p>木は定期的に間伐するなどして育てていく必要もあるので、農林部局と連携して整備していきたい。</p>
---	---

・事務局より第二次湖南省環境基本計画指標一覧について報告

審議会委員意見	事務局
<p>■「野洲川親水公園魅力向上プロジェクトの参加人数」について、3月開催予定とあるが2023年の3月ということが良いか。</p>	<p>■その通りです。</p>
<p>■「不法投棄回収量」は増えていくのが望ましいのか。不法投棄が減り、回収量が減る方が良いのではないか。</p>	<p>■減らす方向で進めます。</p>
<p>■アンケート項目について、目標値を挙げているがいつのタイミングで実施するのか。</p>	<p>■来年度にアンケート項目の内容も含めて調整していく予定です。</p>
<p>■指標の項目をもう少し増やす方が良いのではないか。</p>	<p>■来年度の中間見直しの際に調整いたします。</p>
<p>■1人1日あたりのごみ排出量について、家庭系ごみが令和4年目標値の567gから令和10年は466gに減少しているのは理解できるが、総量が令和4年目標値801gから令和10年は846gに増加しているのはなぜか。</p>	<p>■指標一覧の令和10年の目標値については、令和元年度に想像的に設定した値となっている。当時は総量846gで設定していたが、現時点で801gまで減少した。ここからさらに減少するであろうという目標値を次回の見直し時に作り直す予定をしている。</p>

(2) その他

・事務局より広報こなん12月号に掲載した、環境やごみの特集について紹介

・環境政策課地域エネルギー室より「脱炭素先行地域計画提案概要」について紹介

3. 閉会

野呂副会長あいさつ